

学習指導案（教科：工業 科目：工業技術基礎（電子））

指導クラス・ 実施形態	1年4・5組・20名パート実習	使用教室	ソフトウェア実習室（本館3階）		
単元名・ 時間数	インシデント対応・連続2時間	生徒準備物	実習ワークシート		
職員準備物	実物投影機・動画視聴環境				
本時の目標	各立場からインシデントについて対応を考える 法と倫理のバランスを考える				
学習活動に 即した 単元の評価規準		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	実技 による評価	グループワークに積極 的に参加している	各立場に立った発言が できる	相手の意見を取り入れ て対応する	
	課題提出 による評価		身近な事例で対応を考 えることができる	特性要因図を記述でき る	法と倫理のバランスを 考えている

本 時 の 展 開

時間 単:分	学 習 項 目 (指導のねらい)	学 習 活 動 (□：指示・説明 ○：発問・活動)	評価基準	評価方法
5	【本時の目標の説明】 【概要の説明】	○本時の目標を記入する □技術者倫理の重要性とその手法について 説明する		
10	【語句の説明】 ねらい インシデントとその背景、語 句について理解させる	□インシデント・ステークホルダの具体例 を身近な例で説明する ○企業で考えると分かりにくいいため、なる べく身近な例で考える	技能	行動観察
25	【演習1】 ねらい 事例1について様々な側面か ら考える	○NHKアーカイブを通して概要を理解す る ○科学技術振興機構から詳細を考える	関心・意欲・態度 思考・判断・表現	行動観察 ワークシート記入
15	【演習2】 ねらい ステークホルダから事例を考 える	○必要であれば動画を再確認する ○グループで検討する	関心・意欲・態度 技能	行動観察 ワークシート記入
15	【演習3】 ねらい 特性要因図を記入する	○各側面より原因について考える	関心・意欲・態度 技能	行動観察 ワークシート記入
25	【演習4】 ねらい 他の事例についてもWe b サ イトを参考に検討する 【時間により数例行う】	○感想だけにならない様、客観的な立場か ら検討する	関心・意欲・態度 技能	行動観察 ワークシート記入
5	【本時のまとめ】	□法に触れなくとも倫理的に問題があるこ とを説明する ○技術者としてやるべきことを理解する	思考・判断・表現	行動観察



8	インシデント対応	氏名	組 番	印	評価	
---	----------	----	-----	---	----	--

### 1. 本時の目標

### 2. インシデントとは

### 3. 企業を取り巻くステークホルダ

### 4. インシデント対応例

**事例1** スペースシャトルチャレンジャー号爆発事故(1986年)

① NHK アーカイブス「チャレンジャー爆発」より

② 科学技術振興機構 組織と技術者 より

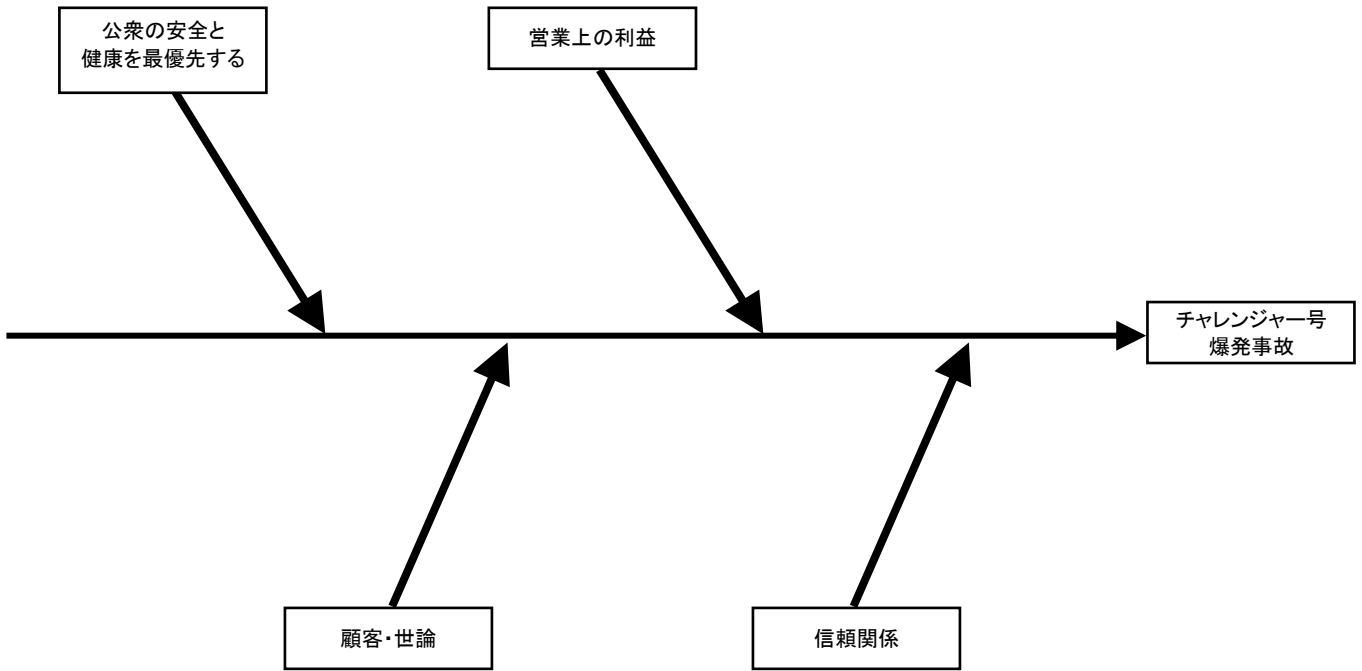
③ 3つの立場(ステークホルダ) ~それぞれの立場・役割にはどのような関係を持っていたか~

ア 技術者 ロジャー・ボイジョリー

イ 上級副社長(経営者) ジェラルド・メーソン

ウ 技術担当副社長(技術者) ロバート・ルンド

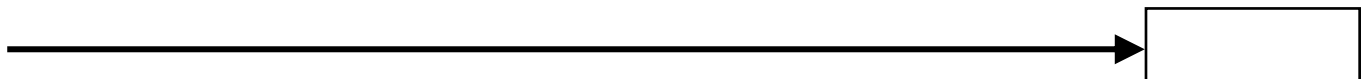
事例1



事例2

事例

[Empty box for Case 2 description]



5. ステークホルダに関する考察

実技を行った考察